

ごんきや「終活カウンセラー」遠藤清子の

生き活きと

終活教室

終活カウンセラー 遠藤清子

七ヶ浜に嫁いできて、ごんきやに入社。以来21年、家族に寄り添うことを大切に、葬儀の仕事に従事。大震災を経て、皆様には後悔してほしくないと終活への想いを深め、セミナーにも心を注いでいる。



第6回 テーマ

「もしも」に備えること

「もしも」の時に備えて、何をしておいた方がいいのか。セレモニア五橋 榎会館館長で1級葬祭ディレクターの櫻井学さんと終活カウンセラー 遠藤さんにお話していただきました。

—近年、葬儀のスタイルもさまざまに変わってきているようですね。

櫻井 震災後は事前相談が増えました。ご家族だったりご夫婦だったり、中にはご自分の葬儀の相談にこられる方もいらつします。

仙台では施設や病院から、自宅へ戻ることなく、そのまま葬祭会館へ搬送

するケースが多くなりました。喪主様が仙台にいないというのが実情です。

遠藤 核家族化が進み、ご近所付き合いが少なくなった都市部ではなおさらです。昔のように家族や親戚、近所の皆さんが一緒にお見送りするというのは難しくなりましたね。

櫻井 また最近の傾向としては、「家族葬でお願いします」というご希望が増え、8割の方がそうおっしゃいます。

大々的にせず身内だけで見送りたいという場合、また、費用面で抑えた葬儀にしたいという場合もあります。

遠藤 故人の希望だったので家族葬

に、という方もおられます。家族だけで静かに見送るというのはいいことでもあります。一方で問題が出てくることもあります。

—どんな問題ですか。

遠藤 訃報を聞きつけた知人が式場からはみ出すほど参列されたり、後で知った人たちが週末ごとに自宅に弔問に見えられその対応が大変だったり、また親戚でも知らせた知らせないで後々のわだかまりになったり。送る側と送られる側の思いや判断に隔たりがあるのを感じます。

葬儀で悔いを残さないためにも、ご家族が話し合っておくことは大切です。

櫻井 実際、私たちは葬儀のプロとして、経験を踏まえたアドバイスを送っていたのですが、事前にご家族で相談されていた方は、耳を傾け受け入れてくださいます。そうでない場合は、あまりにもその場で決めることが多過ぎるせいか、話を聞いてくださる余裕がなくなっているようです。

遠藤 人生の集大成である葬儀をよりよいものとするために、終活セミナーでエンディングノートを書く、そし



右：葬祭ディレクターの櫻井学さん、左：終活カウンセラーの遠藤さん

てご家族でいろいろな話ができるというのはいいことだと思います。

櫻井 話し合う過程で、まわりからどう支えられ生きてきたかが理解でき、感謝の気持ちが出てきます。ご家族も同様に感謝の気持ちを持てれば、いい見送りができます。いい見送りとは、その方が生きてきた人生に尊厳を持って向き合うことではないでしょうか。

遠藤 そうですね。それだけに、もしもに備え、元気なうちに話し合っておいてほしいと思います。

—ありがとうございます。
今回は「遺産相続あれこれ」です。

終活セミナーのご案内

日時：6月20日(月) 午前10時より

場所：セレモニア南光台 榎会館

仙台市泉区南光台南1-3-1

日時：7月24日(日)午前10時より

場所：セレモニア松島 榎会館

宮城県松島町松島字普賢堂44-1

セミナーに関するお問い合わせ (株)ごんきや多賀城支店 TEL.022-366-5151(遠藤)

※終活セミナーはお一人様でもグループ様でもお申込みいただけます。
出張開催もしておりますので、お気軽にお問い合わせください。



1815年創業
葬祭・仏壇・仏具・神具・生花・花環・墓石
株式会社 **ごんきや**®

塩釜本社：〒985-0043 宮城県塩釜市柚野田町24-2
仙台本社：〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋2-8-14

☎ 0120-365-554